

一般社団法人 埼玉私保連



広報

No.130

H29. 1月

発行



駅頭署名

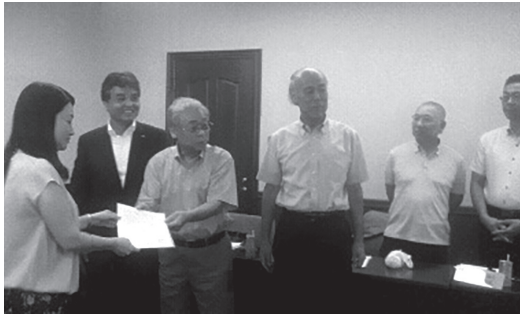
御協力ありがとうございました。

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

平成29年度 予算要望に向けた取り組みについて

保育予算要望は埼玉県私立保育園連盟としても最重要課題として捉え、これに取り組んでいるところです。秋以降、当連盟としての取り組み活動を時系列的に紹介します。

埼玉県保育関係三団体 予算要望書提出



平成28年9月5日(月)
埼玉教育会館301会議室にて

埼玉私保連からは副会長、予算対策部長等が出席し、埼玉県の福祉部少子政策課課長等と意見交換を行いました。要望書に基づき三団体(埼玉私保連、日保協埼玉県支部、埼玉県保育協議会)から説明を行い、それに対し県からコメントが出されました。(以下、やり取りの内容抜粋)

〈1歳児担当保育士雇用費(4.1)補助金の堅持について〉
この補助金の必要性や導入の経緯などにも鑑み、制度の維持に努めるとの回答でした。

〈保育所全職員に対する処遇改善加算について〉
処遇改善の重要性は認識しているが、この件に関しては基本的に国の対応であるとのスタンスでした。

〈主任補佐等に対する加配補助、主任保育士加算の計算方法見直しにおける県の考え方〉
いずれも現行基準で対応が可能であると考えられるので、現場の工夫でお願いしたいとの回答でした。

〈障害児対応、アレルギー対応等の補助金拡充における県の考え方〉
このような事業を実施している都道府県は少なく、埼玉県は手厚い補助をしていると考えているが、拡充は難しく現制度の維持を目指すとの回答でした。

〈その他の意見交換〉
社会貢献活動は補助金のつく活動は対象にならないことなどもあり、小規模法人の負担が大きい、との指摘には、企業並みの活動を全社会福祉法人に一律に導入することは確かに困難との意見が上りました。

「県には要望に応えられるだけの財源が

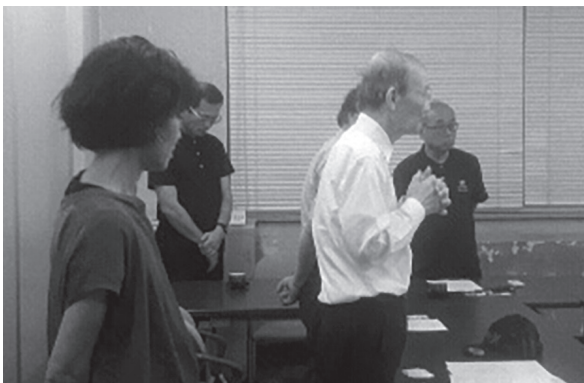
ない。今のところ側面支援しかできていないが、今後県にも出来ることを考えていきたい。(今泉課長)」の回答に集約されるように、ゼロ回答に近いものでした。やや前向きな回答として今後、処遇改善を児童の処遇に絡めて検討する余地があるとのことでした。

埼玉県私立保育園連盟としての予算要望書提出

平成28年9月15日(木)に埼玉私保連「平成29年度埼玉県保育関係予算要望書」を少子政策課に提出しました。1時間という短い時間ではありましたが、県担当課の主幹・主査へ加盟園全体の要望を伝えました。特に切実な人材不足の実情、処遇改善の必要性、また県として「子どもの育ち」「子育ての支援」の充実ははかること、保育の後退を招かぬためにも、市町村単独補助の削減進行等の実態に対し、市町村への支援・指導を強化して欲しいなどの要望を伝えて参りました。

その他、県主催の施設長会議(例年3月開催)のあり方について、出席を希望する園が参加できない事の無いように、更に質疑応答の場も設けて欲しいことを伝えました。

また、要望書に対しては文書での回答を依頼し、具体的な回答をもって面談にに応じて頂くようお願いいたしました。(予算対策部)



埼玉県議団との意見交換

県議会議員との懇談も行い、新制度後の保育現場を取り巻く課題、保育の質の確保の重要性、保育士処遇改善等を議員に訴えました。

9月15日(木) 公明党議員団
10月13日(木) 共産党議員団

お忙しい中、時間を取って頂き、いずれの議員団でも真剣に耳を傾けていただきました。

埼玉県保育担当課との面談

10月24日(月) 埼玉教育会館
会議室

県からは少子政策課より小泉



課長をはじめ5名、社会福祉課から1名が出席され、私保連からは会員33名、また県議1名の参加もありました。以下、面談内容をお伝えします。

県担当課からの回答としては、特筆すべきものはありませんでしたが、現在の県単独補助(1歳児、アレルギー、障害児)は、他県での実施例が少なく削減要求が出ている中、堅持していくと明確な回答がありました。

処遇改善や人材確保については、県内の保育士に2万円の処遇改善をするには50億円かかるので難しいとのこと。東京都の給料の高さは、国家公務員の地域手当の関係で運営費基準が高いためであり、こうしたことも国に申し入れていくことを確認しました。

また県が考える人材確保策として、就職フェアの開催、就職準備金、県内就職者の奨学金返済免除制度、受験料補助等に対応していきたいこと、活用されていない補助金を会員に周知して利用してほしいと話されました。

国の公定価格の矛盾については引き続き国に要望していくが、県として補助する意向は全くあ

りませんでした。(国では30・1を25・1へ、研修日を2日から5日にする検討が行われているとの情報もありました。)

会員からは、新米ママのサポートのためにも1歳児補助は必要不可欠であること、アレルギーの子ども対応にどれだけ給食室が神経を使い、そのために丁寧な対応が必要であることが報告されました。その他会員からの声を紹介します。

と。： 発達障害の子の受け入れを親が認めない場合、医師診断書に代わる認定方法を考えてほしい。保育士が東京に流出しないよう県単の処遇改善をすべきではないか。若い保育士も何年かで給料の安さからやめていく現実や保育士確保ができず一時預かり保育ができない状況等々：

また、メモばかりしている担当者にも面談のだからしっかり向き合って話を聞いて欲しいと要求する場面もあり、時間を延長しての白熱した面談となりました。(予算対策部)

大宮駅頭署名活動

10月29日(土) 午後 大宮駅ア
ルシェ前にて 当連盟の秋の恒例行事です。



(詳細記事、写真については7ページに掲載)

その後の役員会では、埼玉私保連として県交渉のスタンスを今後変えていくこと(知事との直接交渉・現場保育士の参加)、予算要望時期を6月に早め、三団体の定期会議を持つことなどの意見がありました。また保育士の社会的地位の向上を目指すこと、保育行政の不備が直接子どもの育ちに影響を及ぼす危惧なども話し合われ、これらを喫緊の課題として今後も取り組むことが確認されました。

施設訪問こんにちは

訪問先(滑川町)

ハルム保育園

副園長 矢尾千比呂先生



日々

創設者である矢尾先生のお父様の思いが込められています。そして、保育園のエンブレムには青葉の双葉に抱かれ、星が輝いています。

大きなお家

ステンドグラスのエンブレムが輝く大きな扉を開くと、お家の玄関のような空間が広がります。正面に今日の誕生児の写真が飾られ、左手には事務室。少し進むと掲示コーナー、そして保育室へと続いてゆきます。

ハルム保育園は、東武東上線、森林公園駅とつきのわ駅のほぼ中間、武蔵丘陵の懐に抱かれた市野川のほとりにありました。昭和五十二年認可保育園となり、今日に至っています。

ハルム保育園の名前「ハルム」とは、ドイツ語で、青葉、双葉を意味しているそうです。

「梅檀は双葉より芳し」

庭の白檀は発芽の双葉のときに、もう、あのいい香りを漂わせています。

「人の子もかくあるべしと希う

幼児が生活する東棟は、各保育室、年齢ごとに「製作」「ごっこ遊び」「生きものの観察」「積木」「絵本」の五つのコーナーが設けられていました。子どもひとりひとりが自分の感じたままに生活し、遊びを選択しています。「これを、やりなさい」と、誰に言われるわけでもありません。



変幻自在の園庭

矢尾先生の研究テーマは、園庭環境についてと伺いました。幼児施設等の設計に長年携わり、現在園庭環境のアドバイザーをされている設計士の井上寿氏の指導を受け、ここ数年、子どもが主体的に遊べる園庭環境を目指して園庭改良に取り組んでいます。

昨年4月、1回目の園庭改良を終え、子どもたちの遊んでいる様子を分析し、発達に見合うよう、今年度2回目の園庭改良を行う予定です。

定だそうです。園庭にはそれに使う角材がたくさん置かれていました。

園庭改良は、職員と保護者有志と先に紹介しました井上氏も加わり、土曜日、朝から夕方までかけ、かなり大掛かりに行うそうです。

雨水を引き込む池、客席を思わせる階段状の築山、銀杏の木を取り囲むクライミングスペース、階段を取り外した大型遊具等、年齢に合わせた工夫を随所に散りばめた遊び場は現在もとても魅力的なのですが、今回の園庭改良でどのように変わるのでしょうか。園庭改良が終わった後に、もう一度、訪ねてみたいになりました。

安全面は気になるところですが、先生曰く、年齢(身体能力)に合わせた設定を考え、小さな子が簡単に登ったり、挑戦できない造りにすることでケガは減り、年長の子への憧れが大きく膨らみ、時が来たら挑戦してゆくようになります。大人が考えて改良を加えた設定も、子どもたちにとっては簡単だったこともあるのだそうです。実践してみてもわかる嬉しい誤算です。

園庭改良は、「子どもの伸びる力と大人との知恵比べ」。子どもとのこんな知恵比べができるって、羨ましい限りです。

ひんひんを見つめて……

平成二十四年に建て替えられた



西棟は、木をふんだんに使用した造りとなっており、乳児スペースとホール兼ランチルームがありました。

南側にある乳児室は、家具等でコーナーが区切られています。0・1・2歳児は、育児担当制を行い「食事」「排泄」「睡眠」「清潔」を一对一の関わりを大切にしていました。

子どもの生活環境は様々です。朝の起床、食事時間に合わせ、昼食の時間を一斉ではなく設定しています。補助の保育士を配置することで一对一の対応を可能なものにしていました。

それぞれの生活空間が分かれ、子どもの生活がスムーズに進められるよう動線も考えられています。また、室内には、季節を感じさせるものがさりげなく置かれ、

ほっこり感を醸し出しています。「子どもが自分でできるようにしていく介助と、丁寧な関わりをすることで食べこぼしは少なく落ち着いています。」と矢尾先生。

ホールでは、幼児グループの体育遊びが行われていました。終了後は、ホールがミニキッチンのあるランチルームに変身です。

給食食材には、ハルム保育園の拘りがありました。食事は「体を作る素である」と考え、無農薬の厳選された食材を使用し、基本は和食です。

手作りから生まれるもの

隙間時間を利用して作る「手作り玩具」はハルム保育園の宝物です。子どもの状況や年齢に合わせ、保育士が様々なものを工夫し創造してゆきます。毎月、子どもたちがどんな遊びに興味を持っているのか、そして、どんな玩具が必要なのかを話し合っています。

まとめたものが、「ハルム保育園の手作り玩具ファイル」です。この中には、こどもへの愛情がいっぱい詰まっています。

戸惑いを減らすために

小学校まで歩いて行き、校庭で遊んだり、小学校の教室を借りて保育園との違いを探す環境体験を行ったり、小学校との交流も行っています。近隣の小学校や町立の



幼稚園と連携して、子どもたちの新たなステップを後押しできるように埼玉県の小学校接続期プログラムに力を入れています。

共通理解をモットーに

職員の研修も計画的に行っています。単発で費用の掛かる外部研修に行くより、全員で受ける研修を目指し、今年度は二カ月に一度、著名な先生を園に招いて、全員が参加できる研修を実践しています。現在、保育で必要なこと、困っていることの中からテーマを絞り、様々な場所で矢尾先生の研修交渉が展開されます。

職員がそろって研修を受けられる環境があることは、保育を進めるうえでとても重要です。保護者

の方々のご理解ご協力があったからこそ、おっしゃっていただきました。

現在は、先駆的な実践園からのアイディアをハルム流で展開、環境を変えると子どもが変わる、保育者が変わると子どもも変わることを実感し、保育者が自主的に取り組むようになったと伺いました。

子どもたちの幸せを願い、職員が揃って苦勞をいとわず、子どもが自主的に遊び、生活できる環境作りに取り組んでいらっしゃる姿に感動しました。

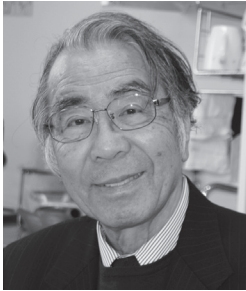
お忙しい中、丁寧な対応をいただきましたことに感謝申し上げます。

園長先生をはじめスタッフの皆様のご活躍とハルム保育園のますますのご発展をお祈り申し上げます。



受賞おめでとうございます 保育功労賞(全国私立保育園連盟)

近況(勤続表彰に際し) 加須保育園長 村山徹朗



大変寒い日が続いています。そんな中、老体にムチ打って働いています。保育園での修繕工事等は園児のいない休日中心に行うことがベストと考え、休日出勤となり年中無休状態、平日は平日で13時間開所のため、長時間労働に明け暮れています。こんな悪条件の管理職について、はや20年がたちました。いい加減やめたいと思いますが、日本の保育の惨状を見るにつけ、なんとか声を上げ続けないと子供たちの未来が大変と義憤を感じてしまい、やめられずに今に至ってしまっています。今年度も次から次へと、新しい問題が起こっています。深刻なものが、保育士が集まらない。長時間勤務で土休がない、有給休暇があっても取れない、責任が重すぎる、そのうえ低賃金が主な原因で、保育士の質が低下している。特に学卒新人の質の低下と、募集を出しても集まらない。この結果、事業縮小に至らざるを得ない事態も起こっています。この保育界の困難を保育士の地位向上のための好機と考え、保育関係者は今こそ力を合わせて乗り越えていかねばならないと思っています。そのために微力ながら尽くしていきたいと思っています。そのための表彰と考えることにします。

保育功労賞を受賞して 愛泉幼児園 主任保育士 大熊自子



この度「保育功労賞」を受賞させて頂きありがとうございました。保育の仕事を経年続けてこられたのも園長先生始め職員の皆様のお蔭だと感謝しています。

仕事を振り返ってみますと、今から40年前愛泉幼児園に着任し初めて受け持ったクラスが3歳児でした。夢中で保育に携わり戸惑いも多くある中、よく先輩職員に声を掛けられ指導を頂きました。

「子どもたちとともに生きよう」の教えを創立者故キョククリヒ女史から直接聞くことはできませんでした。しかし、園長先生や先輩職員からその言葉には「子どもの気持ちになって生きよう」「子どもにかわって生きよう」という意味が含まれ、子どもに対する沢山の事柄の意味が込められている事を教えて頂き、保育の深さを感じながら一心に保育に携わってきました。

今その教えを忘れず保育士達と一緒に多くの子どもたちと関わっています。

これからも保育士同士の手つなぎを良くし、子ども達を大切に生命を大切にしながら、同時に発達を保障しのびのびと成長できるよう保育に携わって取り組んでいこうと思います。

連盟功労賞を頂いて 埼玉私保連 事務局員 宮澤千代子



この度、「連盟功労賞」を受賞させていただき深く感謝申し上げます。グランドプリンスホテル新高輪会場での受賞式は場違いの様で申し訳ない気持ちでした。埼玉私保連の事務局員として勤務し、夢中で駆け巡った16年でした。事務局で毎月開催される役員会では保育の状況、情勢に応じた討議がとても熱心になされています。先生方の想いは親が安心して仕事ができ、子どもたちが健やかに育ってほしいとの熱い眼差しにあふれ、無報酬での諸活動には頭が下がります。これまでの歩みを振り返ると関東ブロック保育研究大会、全国私立保育園研究大会埼玉大会、子ども・子育てを考える1000人研修会等ありますが、特に一般社団法人への移行作業は感慨深いものでした。各研修会での会員園の諸先生との出会いも楽しかったです。好きな書道で研修会の看板制作とか少しは役に立ったでしょうか。森田会長始め、望月前事務局長、久保田現事務局長、多田事務局次長そして役員の方には助けていただきました。受賞を通して、これまでの歩みが遠い過去のように懐かしくセピア色に輝き胸がいっぱいになります。埼玉私保連との邂逅は私の宝です。本連盟のますますの発展を祈念いたします。

駅頭署名活動 報告



秋風が舞う10月29日(土)午後、大宮駅頭にて42名の会員の方々にご参加いただき署名活動を実施しました。埼玉県私立保育園連盟で作った「みつめよう子どもの未来」とプリントされた風船を片手に園長さんやエプロン姿の保育士さんが道行く人たちに一生懸命呼びかけてくれました。短い時間にもかかわらず、400筆を超える署名をいただくことができました。

署名をしてくれた方からは「保活大変なんです！なんとかしてください」「子育てが大変です。子育ての環境をもっとよくしてほしい」「保育士が足りないんでしょ？処遇が良くなり保育士の数が増えるよう頑張ってください」等の激励の言葉もいただきました。みなさんのご参加、御協力ありがとうございました。

(予算対策部)

埼玉県私立保育園連盟新規加入園

2016年12月現在

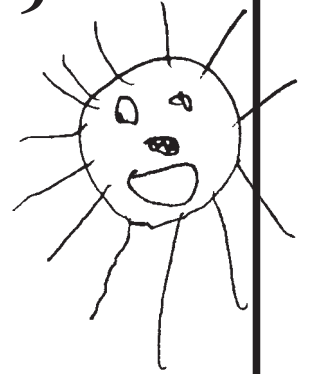
所在地	園名	園長名	TEL
ふじみ野市	たんぼぼ第二保育園	大野 幸代	049-256-5778
ふじみ野市	ゆずり葉保育園	大塚 理江	049-263-8526
戸田市	むつみ保育園	矢沢 利恵	048-287-3623
さいたま市	ふらっと保育園	木村 和孝	048-789-6655
さいたま市	あい音保育園	加藤 藍	048-729-5831
川越市	かつらの木保育園	堀内 恵	049-247-8555
平成27年加入			
草加市	めえめえこやぎこども園	八木下 和江	048-943-3800

新任園長紹介

所在地	園名	園長名	TEL
さいたま市	与野ひなどり保育園	小林 宏繁	048-852-4202
さいたま市	にじいろ保育園	笠原 洋子	048-652-5400
川口市	しいのみ保育園	西田 里紗	048-267-1403
所沢市	ひまわり保育園	猪又 真紀子	042-942-8774
所沢市	東所沢保育園	西田 恵美子	04-2946-3310
加須市	戸川保育園	内田 順子	0480-68-5610
春日部市	小鳩保育園	加藤 智之	048-752-0271
本庄市	若草保育園	福島 志乃	0495-21-5001
深谷市	桃園保育園	大澤 君代	048-573-4967
桶川市	カオルキッズランド保育園	上松 邦秀	048-789-0888
富士見市	西みずほ台保育園	成田 佳奈	049-268-5558
小川町	小川保育園	尾島 満矢	0493-72-1170
寄居町	ゆずの木保育園	新井 利恵	048-581-4932
松伏町	ゆたか保育園	小島 玲子	0489-92-1416
三郷市	美咲保育園	大森 聡一	048-954-7222
新座市	山びこ保育園	富村 千鶴	048-481-5095
新座市	北野の森保育園	富村 千鶴	048-487-4095

保育園および園児を さまざまなリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。
 (公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
 保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
 各種保険を取り扱っております。



全私保連
保険制度

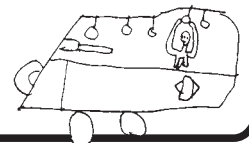
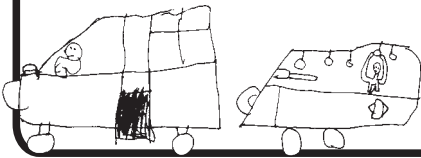
園児総合保障
共済制度

上記以外にも、「学童保育」や「園舎の火災保険」などの、
 保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
 TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806



☆☆ 編集後記 ☆☆

冬の代表的な花、枯れた景色に華やかさを添えてくれるシクラメン。
 軒先で半分忘れられていた去年のシクラメン、花株がよかったです。特別なお世話をしたわけでは
 ないのですが、葉も豊かに繁り、蕾をたくさん付け、11月半ばに花を咲かせました。その姿は、今年のもの
 に引けを取りません。立派です。
 小さな幸せを感じている今年の冬です。 (T.M)

いつも『広報』ご愛読ありがとうございます。施設訪問記事は読者にも好評で、掲載後の訪問園入園率は
 200%を超える結果が出ています(当社比による)。今後とも御協力よろしく申し上げます。次号『広報』は
 研修特集(私保連主催研修の報告)です!! (S.K)

事務局 (一社)埼玉県私立保育園連盟
 〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F
 TEL 048(772)8623
 FAX 048(772)8635